

令和7年 4月25日(金)

あさひの日だまり

NO.4

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～家庭訪問お世話になっています～

「緊張した」かな

朝一人の男の子に「家庭訪問終わった？」と声をかけました。「昨日だった」と答えてくれました。「どうだった？」「緊張した！」と笑顔で答えてくれました。終わってホッとした、という気持ちがその表情からよくわかりました。帰りがけの女の子にも聞いてみました。「楽しかった」という返事でした。先生とのやり取りを嬉しそうに話してくれました。お家の人と並んで先生の背中をニコニコしながら見送る風景が目には浮かびました。

他の男の子にも聞いてみました。「恥ずかしかった、だって初めての先生なんだもん」「緊張したんだね」「うん」とお話ししてくれました。新しい先生と出会って2週間、先生が家を訪ねてくるとなれば誰だって緊張します。現在は玄関先の訪問ということになっていますので、居間へ上がってお茶をいただいて子ども部屋を見せていただいているわけではありませんが、そうはいっても担任の先生が自分の家の敷居をまたぐというのは特別な感覚だと思います。学校でみんなの前に立ってお話をしている先生の姿とはちょっと違って、自分の家を訪ねてきた先生は「私の担任の先生」という思いがして、緊張と同時になんだか距離が少し近づくような感じがするのではなかろうかと思います。

各ご家庭に置かれましては、お仕事に都合をつけていただき時間を作って下さっていることと思います。無理をして下さっているご家庭もきっとあるはずです。家庭訪問へのご協力本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

家庭訪問の中で伝えなかったことが伝えきれていないような場合にはどうぞ遠慮なさらずに学校へお電話ください。担任の先生と願いを共有していくことがお子様のこの先を考えたときに最も大切なことになっていくと思います。

考えてみると私が小学校の頃は毎年家庭訪問がありました。部屋が磨き上げられ、ちゃぶ台と座布団が置かれ、見たこともないようなお菓子が用意され、煮物と漬物が小皿にきれいに並べられていました。私の分も用意されてはいましたが、色々が人並みにできない私は先生や親が何を言い出すか不安で緊張で固まっていた懇談の最中はとても手を出して食べられるような状況ではありませんでした。家庭訪問が終わると本当に嬉しくてホッとして「おかし食べていい？」と言いながら心ゆくまで味わったことを今でも覚えています。今の子どもたちの気持ちもきっとこんな感じなのかなと思います。子どもたちにも「ごくろう様」と伝えてあげたいです。

～運動会の練習が始まりました～

「楽しい運動会」になりますように

6年生の教室を訪ねたら「校長先生、運動会ってどうしてあるの？」と聞かれました。「運動会嫌なの？」と問い返すと「うん」という返事でした。「そうなんだ」と言いながらその場を離れると後ろの方で担任の先生が「半日だからね」と声をかけて下さっているのが聞こえてきました。きっと半日だけだから頑張るってねという気持ちで声がけして下さったのだらうと思います。

運動が得意で体を動かすことが好きな子にとっては運動会は待ち遠しい行事に違いありません。一方子どもの中には運動が苦手であったり体を動かすことに抵抗がある子もたくさんいます。その子たちにとっては運動会は決して楽しい行事ではないのです。昔のようにお昼を家族と一緒に楽しく食べるという時間があればそれでも楽しめる場面がありますが、今のように短時間にメニューがぎっしり詰まっているとなかなか楽しめない子もいます。きっと家でも「やだなー」と言っているお子さんをなだめているようなことがおありだと思います。

5・6年生が組体操の練習を始めています





車座になって作戦会議。真剣です。

学校では「楽しむ」ということを今年一番の目標に掲げています。子どもたちにとっての運動会が楽しいものになるにはどうすればよいか。全員の子どもたちが十分とはいきませんが、少しでも多くの子どもたちが少しでも気持ち的に楽しく思えるように職員もそのことを話題にして話し合っていきたいです。

～連休が始まります～

ご家族と楽しい時間を過ごしてください

大型連休が来ます。子どもたちが嬉しそうに連休の予定をお話ししてくれます。「ディズニーランドに行くんだよ。初めてだからちょっと怖いんだ」とお話ししてくれた児童がいました。ご家族と車でワイワイ言いながら行くのでしょう。楽しい様子が目に浮かびます。どんなところかわからないからちょっと不安なのですね。その気持ちもよくわかります。混んでたら大変だろうなとちょっと心配です。不安な気持ちは楽しい思い出にきっと変わると思います。楽しい思い出を持って元気に帰ってきて欲しいと心から思います。

連休を迎えるにあたって町の教育委員から各ご家庭にお願いがあります。

- 1 GW中の生活については、基本的には各学校の「長期休業中の生活」に準じた対応となります。
- 2 GW中の緊急連絡先は辰野町役場（TEL0266-41-1111）です。辰野町役場→町教育委員会→学校で学校へ連絡を取ります。
- 3 気象庁から「雷注意報」が発令された時は、屋外に出ないようにしましょう。屋外で活動していた場合は、直ちに安全な屋内に入りましょう。
 - ・かみなり雲（積乱雲）が近づいてくると、急に暗くなる、急に風が強くなる、冷たい風が吹いてくる、雷が降ってくる等の変化が見られます。
 - ・活動を開始してもよいという目安は、「雷鳴」が30分間以上聞こえなくなったときとされています。
 - ・近年、春でも初夏でも雷被害が発生している状況があります。

「たつのこ学舎」のご案内

～学校に足が向きにくい子どもさんの保護者の皆さんへ～

「たつのこ学舎」は、最近学校を休むようになってきた、学校に行きたがらない、教室への入りにくさを感じている、学習に困難さを感じている等の子どもさんが、安心して学校生活を送ることができるように、一時的に生活したり学習したりする場です。

昨年度は、2～3日程度の短期間も含めると、計14人の利用がありました。すぐに教室に戻そうとするのではなく、子ども一人ひとりの気持ちや願いを尊重し、安心できる場としての機能を大切に考えて運営しています。そして、「どの授業は教室に行くのか、どの活動はたつのこで活動するのか」を本人が自分で決めることを大事に考えます。また、学力保障も大切なことなので、本人の習得状況に応じ本人のペースで個別に学習を進めてきています。

ご相談を希望する場合は、担任の先生や教頭先生、校長先生にお声がけください。また、担当している職員（根橋）まで直接連絡をしていただいてもかまいません。

直通電話は41-0166です。心配なことがありましたら、ご相談ください。 安心できるスペースとなっています

